

令和3年度も終業を迎えます。目標に向かって成長することができたでしょうか。やるべきことをやり遂げることができたでしょうか。楽しかったこと、大変だったこと、悩んだこと…様々な声が聞こえてきそうです。この便りも読んでくれている皆さんに支えられ、最終号までたどりつきました。ありがとうございました！

## ◆ 1年生：「自己理解と他者理解」



今学期、1年生は、自己と他者を肯定的（ポジティブ）にとらえることの大切さを感じてもおうと、ホームルーム活動をおこないました。「みんなやさしくて、話していて楽しくて、友だち思いなど、たくさん良いところがあります。だからこのクラスで良かったなと思います」と、クラスへの思いを綴ってくれた人もいましたよ！思いが込められた感想がたくさんありました。

### \* 短所は長所！ものの見方を変えてみよう！ ~みなさんの感想より~

- ④ 長所よりも短所のほうが多かったけれど、短所も言い方を変えれば長所になるんだなと思いました。まだ自分で気付けていない長所があるような気がしました。
- ④ 私は自分の良い所がまったくないと思っていたけど、友だちがたくさん書いてくれて、こんなにたくさんあったんだと思ったし、私の色々なことを見ているんだと感じました。
- ④ 普段、自分が何気なくとっている行動でも、相手にとって助かっていることもあるんだなと思いました。
- ④ 意外と自分のいい所ってたくさんあるんだなって思いました。自分が知らなかった部分もあったので、知れて良かったです。
- ④ ひとからもらった自分の長所のところを見たら、自分が気付けないところがたくさんあったので、他の人からはこんな風に見られているんだと思いました。うれしい意見ばかりだったので、人の長所を見つけるということは大事だなと思いました。
- ④ 私は長所より短所のほうが多かったので、みんなが思っている自分の長所を知って、いまより少しでも自信がつけばいいなと思いました。
- ④ 長所を書いたら、『優しい、困っている人がいたら助けてあげる、笑顔にしてくれる』とあったので、すごく嬉しくて自分に自信が持てるようになりました。

なかには、「自分に自信がない」、「あまり自分のことが好きじゃない」、「自分を出すのが怖い」などと、胸の内を伝えてくれる人もありました。前向きになれない自分を責めてしまったり、明るく振る舞える周囲の人たちをうらやましく思ったりする気持ち、よくわかりますよ。その「しんどさ」を感想のなかで伝えてくれたのですね。自分のこころの痛みに気づくことができる人は、人の痛みもわかる人だと思います。きっとそんな優しさを持って人と接してくれているのだろうと、顔を思い浮かべながら読みました。どうか、自分を大切に…。



## ◆ 2年生：「教科書無償化運動から学ぶ」

2年生は、1年間にわたって部落差別の歴史を学習し、そこから私たちが学びとるべきことを考えてきました。小・中学校の教科書が無償であることは皆さん知っていたと思いますが、今回、その理由や、教科書無償が実現するまでの経緯については、初めて学んだのではないのでしょうか。



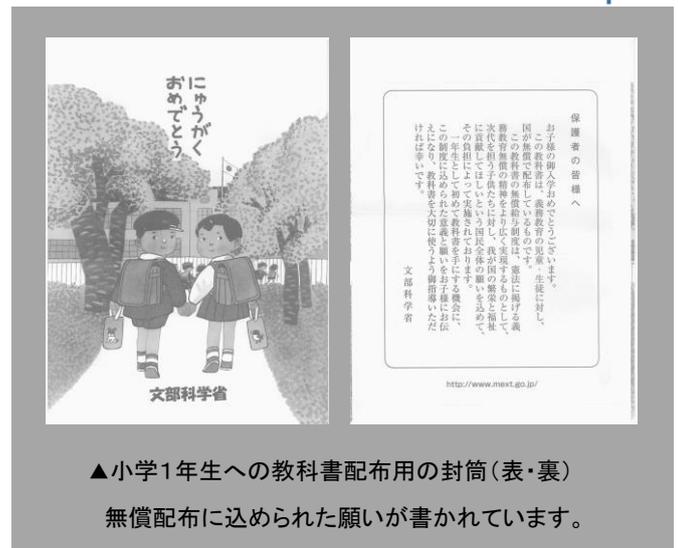
教科書無償化運動は、それまで差別されていた人々が中心になってはじまったものですが、次のような大きな意義がありました。

- ★人々が「権利」を正しく理解して行動を起こしたこと
- ★人々の「権利」を実現しようとする思いが、国をも動かす大きな運動になったこと
- ★社会全体の利益・幸福のために、様々な立場の人たちが連帯・連携した運動になったこと

「権利」とは、「人として当たり前のこと」を「当たり前に行えること」とも解釈されます。人々の努力によって勝ち取られた権利を、大切にしたいですね。そして、「権利」とは、「社会全体の幸せのために主張されるべきものだ」、と先生が話しておられるクラスもありました。自分の権利はもちろん大切ですが、「社会の幸せ」を追求できる私たちでありたいものです。

### \* 権利をまもろう！「正しいこと」を諦めずに追求しよう！

- ④今、私たちが当たり前のように教育を受けられるようになったのは、昔の人たちが様々な思いをもって、同じ思いの人たちと協力して、最後まで、実現するまで諦めなかったからだと思います。その人たちの思いをくみ取り、これからの社会で、自分の身の周りで差別などが起こってはいけないと思います。今でも一日一日を必死に働いている親がいます。その人たちの思いが繋がって今があるということ、背景を忘れてはいけないと思いました。
- ④当時、教科書を無償にするために活動した人たちのおかげで、今私達が費用をさほど気にせず勉強ができていますから、勉強できることに感謝して教科書を大切に使いたかったです。問題に対して声を上げることは勇気があるし、苦勞することもありますが、社会を良くしたり、苦しむ人を助けるためにはとても大事なことですと思いました。
- ④憲法に書いてあるのなら無償で教科書を配ったり教育を受けさせるのは当たり前だし、当時のお母さん方が協力して声をあげてくれたおかげで、今の子どもたちが無償で教科書をもって勉強できるので、すごくありがたいことなだと思いました。納得のいかないことに対してちゃんと声をあげることが大切だと思いました。



▲小学1年生への教科書配布用の封筒(表・裏)  
無償配布に込められた願いが書かれています。

●1・2年生とも学期の終わりに新年度の教科書を購入します。「当たり前」のように手にできることの背景に、どのような人の苦勞や努力があったのか、想像する機会にしてみてくださいね。4月、新しい学年で、また皆さんと再会できるのを楽しみにしています！

(\*この便りは持ち帰り、家庭で「人権」について語り合うきっかけにしてください。 人権教育推進スタッフ：森脇)